

平成28年度 事業計画書

<基本方針>

「臓器の移植に関する法律」の理念に基づき、広く臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供医療機関相互の協力体制の確立への助成等を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした活動をする。

1. 臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進事業

(1) 普及啓発講座

- ・市民公開講座を岐阜地区及び新たに飛騨地区の2ヶ所にて開催する。改
7月3日(日)高山市民文化会館/1月29日(日)ふれあい福寿会館
県民、透析患者約80名対象
- ・教育施設及びライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト等の各支援団体に一般県民への普及啓発を目的として、出前講座の機会を求めていく。

(2) 臓器移植普及推進月間における啓発の強化及び意思表示の呼びかけ

- ・10月の全国臓器移植普及推進月間を中心に、保健所、市町村、関係団体等の協力を得て、街頭キャンペーンや岐阜県農業フェスティバルの会場にて、ポスターの掲示及び移植医療への理解の呼びかけ、臓器提供意思表示カード、免許証、健康保険証等への意思表示の普及を図る。
- ・若年層が気軽にカードを携帯できるよう「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターのミナモを使用した岐阜県オリジナルの臓器提供意思表示カードを作成し、関係各所へ配布する。新
- ・学園祭等でバナー及びポスターの展示を行う。新
- ・県民が多く利用する市町村庁舎、医療機関施設、教育施設、金融機関、運転者講習センター、自動車学校、大型商業施設等に岐阜県オリジナルポスター（ミナモ&ハーティ）の掲示やカードの設置を依頼する。
- ・成人式の際にカードの配布を各市町村に依頼する。
- ・タクシー会社の協力を得て、車内にステッカーの貼付を依頼する。

(3) メディア等を利用した普及啓発

- ・岐阜県の現状について新聞等を通じて広報し、県民が移植医療及び意思表示について身近な問題として関心を高める。
- ・岐阜県オリジナルポスターをFC岐阜選手からFC岐阜応援マスコットのミナモと（公社）日本臓器移植ネットワークマスコットのハーティを使用した親しみやすいデザインに刷新して老若男女、誰もが移植医療に関心を持てるよう関係各所へ配布する。改
- ・JR岐阜駅前のニュースビジョンにて10月の普及推進月間時に移植医療に関するPRを放映する。（15秒×4回/1時間×7日間）新

2. 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する事業

- ・岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会の開催：年3回実施。
移植医療に関する情報交換、事例検討、セミナー等を通じて院内臓器提供連絡調整員の資質向上を目的に開催する。
- ・各調整員の活動が活発化されるよう、各施設主催の研修会やシミュレーション等の開催時に臓器移植コーディネーターが参加すると共に、講師派遣や各施設の希望に応じた支援を行う。
- ・選択肢提示用リーフレット『ご家族のみなさまへ』は、厚生労働省科学研究でパンフレットの標準形を作成後、岐阜県（行政）として発行し、県内脳死下臓器提供12施設において活用できるよう働きかける。**改**
- ・定期的に臓器移植コーディネーターが提供施設へ訪問し、体制整備に関する協力要請に応える。

3. 献腎移植希望者に対する支援事業

- ・県内で唯一の腎移植施設である岐阜大学医学部附属病院において、毎年1回以上の献腎移植登録者全員（約200名）の評価を行う事が義務づけられた為、県内各透析医療施設及び献腎移植登録者への周知徹底を図る。**新**
- ・献腎移植登録更新者の血清保存検査を各透析施設にて実施し、検体回収及び検査費助成等を行う。

【献腎移植希望者の組織適合検査等の実施】

費用区分		実施予定	新規登録・組織適合検査 (20名予定)	6月 登録更新者 血清保存 (200名予定)
検査費用			37,000円	5,000円
内 訳	自己負担額		5,000円	2,000円
	協会助成額		20,000円	3,000円
	(公社)日本臓器移植ネットワーク補助額		12,000円	

@20,000×20名=400,000円 @3,000×200名=600,000円

助成予定額：1,000,000円

4. アイバンク活動を推進するための諸事業

- ・摘出医療機関及び協力施設との連携を強化する。
- ・摘出医への待遇改善を図る。**新**
- ・提供者の意思を尊重し、各アイバンクと情報連携を図る。
- ・アイバンクポスターの掲示及びDVDの貸し出しにより、献眼活動を推進する。

5. その他

(1) 臓器移植コーディネーターの充実及び研鑽

- ・全国アイバンク連絡協議会、都道府県臓器移植推進組織協議会、(公社)日本臓器移植ネットワーク都道府県臓器移植コーディネーター研修会等へ参加し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

臓器移植コーディネーター補助者の雇用

現職の臓器移植コーディネーター退職に伴い、臓器移植コーディネーター補助者を雇用し、(公社)日本臓器移植ネットワークの研修及び試験を受け、あっせん業務の委託証明書を取得後、現職と交代する。(元保健師。週2日月4週勤務、3ヶ月後交代)

岐阜大学医学部附属病院看護師の臓器移植コーディネーター兼務

院内臓器提供連絡調整員である岐阜大学医学部附属病院看護師長も同様に研修及び試験を受け、あっせん業務の委託証明書を取得後、岐阜県臓器移植コーディネーター兼務として、大学病院内での臓器提供発生時及び院内啓発を率先して行う。(月1回6時間勤務)

(2) 機関誌の発行及びホームページの運営

- ・県民や医療機関、支援団体の方々に当協会の活動を理解していただくため、機関誌「ぎふジン・アイバンク便り第15号」を1,000部発行する。
- ・広告掲載を医療機関や賛助会員、企業等に呼びかける。**新**
- ・現ホームページサービスが9月末終了により、新規のホームページ及びアドレスにて、より充実した内容で県民に移植医療の情報や活動状況を伝える。**改**

(3) 理事会・評議員会の開催

開催日程・内容等	
平成28年5月27日	第1回理事会 事業報告・決算承認・業務執行報告・評議員会開催決議等
平成28年6月13日	定時評議員会 決算承認・評議員の選任等
平成29年3月 予定	第2回理事会 事業計画・予算承認・業務執行報告等

(4) 賛助会員の募集

目標額：1,450,000円

- ・透析医会・眼科医会を中心に、当協会の趣旨に賛同し、事業活動を積極的に支援していただける団体並びに個人賛助会員を募集する。
- ・透析医会の協力を得て、献腎移植登録者が通院する全透析施設への賛助会員加入を依頼する。**改**

【団体】一口 10,000円以上(市町村は人口割) 【個人】一口 2,000円以上

(5) 寄附金の依頼

目標額：2,000,000円

- ・当協会の運営資金は、ライオンズクラブ国際協会334-B地区をはじめ、関係支援団体及び県民の皆さまからの善意の寄附金によって支えられている。また、税額控除対象

法人の証明を受け、個人の寄附者の皆さまには、寄附金控除等の税の優遇措置が受けられるため、より多くの方に当協会の事業活動に対して、理解し支援していただけるよう働きかける。

(6) 募金活動

目標額：200,000円

- ・当協会の事業活動に対し一般の理解と支援を求めるため、関係医療機関、各事業所の協力を得て募金箱の設置活動を行う。
- ・募金箱の老朽化により見栄えが悪く設置が困難とされる施設に、新規作製募金箱の設置を依頼する。新
- ・イベント時の募金者には、岐阜県オリジナルグリーンリボン一体型カードを手渡す。新